

要約筆記者養成カリキュラム準拠上下巻補完資料Ⅰ

記載に誤りがありました。お詫びして修正します。

P. 5 四角枠内の記載に誤りがありました。下段2行の数字を修正してください。

厚生労働省平成18年身体障害児・者実態調査

* 5年に1度の調査。直近で行われたのは2011年（平成23年）度だが、調査対象、方法が5年前と異なるため、比較できない項目もある。

「生活のしづらさなどに関する調査（全国在宅障害児・者等実態調査）」として、2011年（平成23年）12月に実施された。在宅の身体障害者の障害種類別の内訳を見ると、視覚障害31.5万人（8.8%）、聴覚・言語障害36.0万人（10.1%）、肢体不自由181万人（50.6%）、内部障害109.1万人（30.5%）となっている。

↓

厚生労働省平成18年身体障害児・者実態調査

* 5年に1度の調査。直近で行われたのは2011年（平成23年）度だが、調査対象、方法が5年前と異なるため、比較できない項目もある。

「生活のしづらさなどに関する調査（全国在宅障害児・者等実態調査）」として、2011年（平成23年）12月に実施された。在宅の身体障害者の障害種類別の内訳を見ると、視覚障害31.6万人（8.2%）、聴覚・言語障害32.4万人（8.4%）、肢体不自由170.9万人（44.2%）、内部障害93万人（24.1%）となっている。

P. 9 ワンポイント3行目末尾

誤 2013年 ⇒ 正 2014年

P. 11 ワンポイント1行目

誤 2015年度 ⇒ 正 2016年

P11. ワンポイント5行目

削除 「雇用率そのものは変わりませんが」